

未来に向かって伸びる鶴嶺の子

鶴小だより 10月号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
校長 日高 大司郎
令和5年10月3日発行



子どもが主役の子育て

私事です、娘に子どもが生まれました。退院したと連絡を受けたので、先日初めて会いに行ってきました。

新生児を見ることなんて、本当に久しぶりだったのであまりの小ささに、びっくりするのと同時に、「無事に生まれてきてくれて、ありがとう」という、その思いだけでいっぱいになりました。

赤ちゃんってどのように生まれてくるのでしょうか。お母さんの陣痛を開始するスイッチを押すのは、赤ちゃんであることが最近の研究から分かっているそうです。赤ちゃん側の準備が整うと、オキシトシンというホルモンを赤ちゃんが分泌して、陣痛が始まるとのこと。赤ちゃんは自分の頭蓋骨の継ぎ目を重ね合わせるようにして、頭を小さく縮め、お母さんの産道を通り抜けるのだそうです。赤ちゃんは狭い産道を通るときに、肺の中の羊水を出し、外に出た瞬間に肺に空気が入り、肺呼吸を開始します。羊水の中から外の世界へと生まれ出るときにも、誰に言われるわけでもなく、赤ちゃん自身がそれをやり遂げるのです。そう、僕らは生まれる瞬間から、主体的に行動しているのです。

子育ては、時間も手間もかかる大きな営みだと思います。こう書くと、保護者がやることばかりのように捉えられてしまいがちですが、**子どもの成長は子ども自身が主体であり、主役でなければなりません。**ここを忘れてはいけないと思うのです。赤ちゃんは、生まれ出るところから主体的に生まれていました。誰かに指示されずとも、自分で生まれるタイミングを計っていたのです。しかし、「子どもは守るべきもの」「導くべきもの」と思いすぎてしまうと、肝心の「子ども自身」がどうかということを忘れてしまい、**子どもの思いや子どもの主体性を考えない行動をしてしまいがちです。**

この紙面でも何度かお話してきたことですが、僕は子どもたちに「幸せになって欲しい」と思っています。その時に、何を大切にすべきかを今一度考えてみましょう。

「幸せ」の形は、人それぞれです。僕らが子どもたちの幸せの形を描くことはできません。ましてや、VUCAブーカ【Volatility（変動性）・Uncertainty（不確実性）・Complexity（複雑性）・Ambiguity（曖昧性）の頭文字を取った言葉】の時

代と耳にすることが多くなりました。未来の予測が難しくなる状況のことを意味します。子どもたちは、そんな未来を「自分の幸せ」に向けて、たくましく生き抜いていかねばなりません。

その現状を捉えると、僕らがすべきことが見えてきます。彼らは、僕らが想像しうるような社会に生きるわけではありません。彼らが「幸せ」に生きるために必要なものは何なのでしょう。困難から遠ざけること？今悩んでいる悩みを取り除くこと？この道を進めと示す事？いやいや、これらのやり方は、身に付けるべき力をつけるチャンス、ことごとく奪うように感じます。

僕らがしなければいけないことは、**子どもがこの世界の様々な人や事やものと、きちんと向き合い考え、判断したり決めたりしながら、自分の力で自分の人生を歩む、その手助けをすることです。**そして、そうしながらそれを支える力を引き出し育てることです。子どもたちが大海原へ漕ぎ出す前に、守られた環境の中で鍛え強くし、どのようにすれば問題を解決できるか、そのやり方を何度も何度も繰り返し練習させる必要があります。**子どもの人生は、子ども自身が拓くのですから。**

葉祥明さんは「生まれた赤ちゃんとお話ししようよ」という絵本のあとがきで、こう語ります。

赤ちゃんは、すでに一個の人格をもってこの世にやってきました。小さいのは身体だけ、経験不足や未熟さは、今回のこの人生に対してだけです。けっして自分たち大人より、劣った、いたらない存在だと思っははいけません。

赤ちゃんは、自分の人生を生きるためだけでなく、**親を育て、導くためにも、この世にやってきたといえます。**子どもを尊いものとして、敬ってください。彼らの魂はすべてを承知のうえで、親の鑑（※鑑→人の手本）となってくれるのです。

あなたは、自分の子どもから、いったい何を学びますか。

きっと、保護者は子どもの成長と共に、少しずつ学びながら、親になればよいのです。子どもと一緒に寄り添って歩んでください。そして、あふれる愛で子どもたちを包んでください。不安や怖い思いをしたらしっかり抱きしめてください。

それが、**子どもが主役の子育ての出発点です。**

会ってきた孫は、本当に小さい小さい命でした。けれど、懸命に泣いて何かを伝えるその姿からは、「わたしは、生きる！生きています！！」という強いエネルギーも感じたのです。やっぱり子どもは、自分の人生を主体的に生きているのです。